

## Solo Piano Concert

“忘れられない演奏…きわめて美しい経験” マテュー・リップマン/コラムニスト

“刺激的、感動的で深みのある作曲…長いことジャズを聴いてきた中でも最高の、最も独創性に満ちたジャズ。彼は才気溢れるアーティストだ…記憶にとどめ、大切にされるべき人だ”  
リッチモンド・シェパード/ウォールストリート・トランスクリプト

“私のような立場から見ても、これは世界中でも最もエキサイティングな、オリジナルな、創造的なバンドだ” Dr. ジョージ・バトラー

“天才” 日経流通新聞

“私の知り得る世に知られざる最高の作曲家” ギル・エヴァンス



### TOM PIERSON

3歳よりピアノを始め、13歳の時ヒューストン交響楽団のソロイストになる。クラシックピアノを志しジュリアード音楽院に学ぶが、ジャズに傾倒。卒業後はニューヨーク・シティ・バレエのピアニスト、ヒューストン交響楽団の指揮者、ブロード・ウェイでの作・編曲家、指揮者、演奏家として、また、レナード・バーンスタインの「Messa」を指揮するなど、様々な音楽活動を経験する。1975年、エレクトリック・ジャズ・バンドを結成、演奏活動を始め、1978年に TOM PIERSON をレコーディング。トム・ピアソンオリジナル曲によるこのアルバムは、1982年にLA.のアプローチレコードよりリリースされ、86年のWEOS局でNo.1ジャズアルバムに選ばれた。1978年から84年はLA.にてロバート・アルトマン、ミロス・フォアマン、ウディ・アレン等の映画音楽の音楽監督、作曲、アレンジをし、79年からジャズ・オーケストラのための作曲にとりかかった。1982年LA.でトム・ピアソン率いるジャズ・オーケストラの活動は始まる。84年にNYに買った後はNYのミュージシャンを率いて、ブルーノート、ヴィレッジ・ゲイトなどを含む数々のライブハウスに出演し、91年に来日するまでその活動は続いた。1989年、Planet of Tears をレコーディング。安全な国で暮らしたいという思いをついに実行。1991年東京へ移住する。拠点を移してからは、ソロ、トリオのフォーマットで、東京や地方各地のライブハウス、フェスティバル、ラジオなどに出演。1993年末、ファーストCD TOM PIERSON II をリリース。1995年1月、トリオアルバムTOM PIERSON III をリリース。1995年に再びソロピアノをライブレコーディング。初めての九州ツアー、関西・東海・北陸地方でもライブを行い新たなファンを得る。1996年5月、Planet of Tears をリリース。1998年2月、セカンド・ソロ・アルバム Unchained Melody をリリース。

日時 / 4月12日(日) 場所 / 有隣館 0277-46-4144  
チケット / 前売り ¥2,500 当日 ¥3,000 マルチプルチケット6回分 ¥12,000  
開場 / PM5:00 開演 / PM6:00 ※バーはPM5:00より営業しています。

問い合わせ・チケット /  
ハーモニー 0277-45-0678 レコード田園 0277-22-7234  
大風呂敷 0277-44-3966 JAZZ Bourbon 0277-22-5558  
主催 / 有隣館ジャズシリーズ実行委員会 後援 / 桐生市教育委員会・桐生タイムス社  
art direction and design : morishita keiichiroh 1998 overflow corp., kiryu, gunma